

5. 古賀市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成27～29年度）の評価

本計画の課題を整理するために、古賀市介護保険運営協議会において、古賀市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成27～29年度）の評価を行いました。

（1）平成27～29年度計画の評価

平成27～29年度計画で示された62の事業について、以下の基準により評価を行いました。評価結果は以下のとおりです。

全体を見ると、「◎：計画の目標値を上回っている」が21.0%、「○：計画どおり進んでいる」が61.3%となり、あわせて82.3%となっています。

【図表44. 評価結果】

基本施策	取り組み	事業数	進捗		
			◎	○	△
(1) 健康づくりと自立した日常生活の支援	①地域での健康づくりと介護予防の推進	12	6	6	0
	②介護予防サービスの効果的・効率的な実施	8	0	4	0
	③社会参加と生きがいづくりの充実	9	2	5	2
(2) 地域での生活を支援する体制の充実	①医療や介護等の専門職の連携体制の整備	4	0	3	1
	②認知症施策の推進	5	1	4	0
	③相談支援機能・権利擁護体制の充実	5	2	3	0
	④地域での見守り体制の充実	3	1	1	1
(3) 高齢者を支援するサービスの充実	①生活支援サービスの充実	11	0	9	1
	②住み慣れた地域で暮らすための住まい等の整備	2	0	1	1
	③介護保険事業の適正かつ円滑な運営	3	1	2	0
合計		62	13	38	6
割合			21.0%	61.3%	9.7%
【◎：計画の目標値を上回っている】 + 【○：計画どおり進んでいる】 ⇒ 82.3%					

評価の基準について

評価	基準とする内容
◎	計画の目標値を上回っている
○	計画どおり進んでいる
△	計画の目標値を下回っている

(2) 取り組みの概要と課題

平成27～29年度計画について、評価の基準指標となった主な取り組みの概要と課題は以下のとおりです。

【図表45. 取り組みの概要と課題】

基本施策	取り組みの概要と課題
基本施策 1 健康づくりと自立した日常生活の支援	<p>①地域での健康づくりと介護予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもから高齢者までのあらゆる世代を対象とした市民主体の健康づくり・介護予防活動を支援するヘルス・ステーションを設置した。 ・市民（地域）の健康づくり・介護予防を推進する人材育成に取り組み、地域活動の活性化を図った。 <p>《課題》 健康づくりや介護予防の意識付けに対する地域格差の解消</p>
	<p>②介護予防サービスの効果的・効率的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、多様なサービスを実施した。 ・基本チェックリストによる事業対象者の抽出により、早期のサービス利用が可能となった。 <p>《課題》 地域や事業所との連携と支援の担い手となる人材育成の強化</p>
	<p>③社会参加と生きがいづくりの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者外出促進事業は「おでかけハンドブック」による地域活動の周知を図り、高齢者の引きこもりや孤立予防につながる支援を行った。 ・地域活動支援センター「ゆい」を、一体的な地域づくり・人材育成を行う場として整備した。 <p>《課題》 社会参加による生涯現役で活躍できる場づくりの必要性</p>

基本施策	取り組みの概要と課題
基本施策 2 地域での生活を支援する体制の充実	①医療や介護等の専門職の連携体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の医療、介護、福祉等の多職種からなる市在宅医療・介護連携協議会「コスモスネット」を設置し、研修会を通じた連携を図った。 ・介護サービス事業所の相互連携や資質向上を目的とした自主運営の各種ネットワークを構築し支援を行った。 《課題》 <i>在宅介護を推進するための医療機関や専門職との連携の強化</i>
	②認知症施策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の状態に応じた適切なサービスの流れを掲載した「認知症ケアパス」を作成した。 ・もの忘れ相談ルームでの認知症簡易チェックを実施し、認知症の早期発見に努めた。 《課題》 <i>認知症に対する正しい知識の普及・啓発 認知症高齢者とその家族を支援する体制づくり</i>
	③相談支援機能・権利擁護体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市民が成年後見活動を行う「市民後見人養成講座」を実施し、市民後見人の育成を行った。
	④地域での見守り体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯の増加に対し、災害時の要援護者登録、民間事業者等による日常業務での見守りを行った。

基本目標	取り組みの概要と課題
基本施策 3 高齢者を支援するサービスの充実	①生活支援サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域における生活支援の担い手の育成・発掘や地域資源の開発・ネットワーク化を行う生活支援コーディネーターを配置した。 ・ひとり暮らし高齢者の不安解消を目的とした「安否確認緊急対応コール事業」を充実し、24時間365日の相談体制を構築した。 《課題》 <i>地域活動のサポートと連携、体制整備の充実</i>
	②住み慣れた地域で暮らすための住まい等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域で暮らすための住まい等の整備を行った。 《課題》 <i>高齢化の状況に応じた施設整備の検討</i>

	<p>③介護保険事業の適正かつ円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費適正化事業により、適正なケアマネジメントを強化した。 ・「介護保険べんり帳」「事業所ガイドブック」等によるパンフレットにより、介護保険に関する情報提供に努めた。 <p>《課題》</p> <p style="color: red;">介護者と支援者に対する適正サービスの情報提供</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 現状と課題の整理

高齢者を取りまく現状分析や市民ニーズ調査、そして平成27～29年度計画の評価から明らかになった特徴をもとに、古賀市が取り組むべき課題を抽出しました。

【図表4.6. 現状と課題の整理】

現状・市民意向から見る特徴	課題
・ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯など介護や支援・見守りが必要な人が増加している 現	
・支援が必要な高齢者の把握が十分に行えていない 現	
・地域での健康づくり・介護予防に対する意識に地域格差がある 現	
・昨年と比べて外出の回数が減っていると回答した高齢者は、運動器の機能低下者、閉じこもり傾向ありで半数を超えている 市	
・もの忘れが多いと感じると回答した高齢者が約4割いる 市	
・介護者の約4割が認知症状への対応に不安を感じている 市	
・地域での認知症状の疑いがある人の発掘が十分ではない 現	
・認知症専門チームの活動を希望している 市	
・約7割の人が住み慣れた自宅での介護を望ましいと考えている 市	
・在宅を推進するためには高齢者個人に対する支援とそれを支える社会基盤の整備が必要であると感じている 現	
・在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い要介護3以上の高齢者の6割は訪問系サービスを利用している 市	

・介護支援専門員の6割以上が主治医との連携が困難だと感じている 市	
・介護に携わる人は多職種間での情報共有や連携強化を希望している 現	
・24時間対応可能な訪問サービスの充実を希望している 市	
・在宅医療・介護を推進するためには、専門職の相互理解とサービスの構築が必要であると感じている 現	
・高齢者外出促進事業への参加者は年々増加している 現	
・ボランティアへの参加頻度には地域間格差がある 市	
・老人クラブへの参加は約1割程度である 市	
・地域づくりの場へ参加したいと考えている高齢者は約5割、企画・運営（お世話役）として参加したいと考えている高齢者は約3割となっている 市	

※特徴の根拠 ⇒ 現：現状、市：市民ニーズ調査